

# CHIGASAKI T.C U12さわやか杯 報告書

●日時	2013年 7月 20,21,27日 天候: 晴れ	作成日 2013年9月2日 報告者 茅ヶ崎TC U-12 渡邊																																								
●会場	<予選>みなとみらい(7/20,21)、<決勝T>綾瀬スポーツ公園(7/27)																																									
●参加チーム	県下各地区TC選抜チーム																																									
●参加人数	茅ヶ崎選抜 U-12 22名																																									
●目的	関東大会進出																																									
●試合結果	<予選> 第1試合 vs 藤沢選抜 2-0 (1-0/1-0) 第2試合 vs 寒川選抜 1-0 (1-0/0-0) 第3試合 vs 相模原選抜 3-2 (1-2/2-0) 第4試合 vs 横浜選抜A 0-2 (0-1/0-1) 第5試合 vs 平塚選抜 1-0 (0-0/1-0) <決勝T>準々決勝 vs 鎌倉選抜 1-1 (1-0/0-1,PK4-5)																																									
●内容	<マッチレポート/課題> 小学生年代、特にU-12ではピッチサイズとフィジカルのバランスがどの世代を通していても最も密になる場面だといえる。つまり人と人の距離が近く、常に1対1が生まれる環境である。そうした環境で茅ヶ崎は「ボールを奪い、仕掛ける」という徹底したコンセプトの元、常にアグレッシブにリスクを恐れず、どの局面でも人数をかけ攻撃を繰り返すスタイルを貫いた。タフな運動量を要求される選手たちが楽しみながらピッチを躍動しサッカーをしてくれたことは、予選を1位で通過でき、大会関係者からも多くの賛辞をいただけたこととともに大きな成果である。  予選、決勝Tを通し、対戦相手の中で目を引いたチームは相模原、横浜A、小田原の3チームである。この3チームが茅ヶ崎より優れた点は「サッカーを知っている」ことだと感じる。局面での選手個人の判断で、時には早く、時にはゆっくりと時間を使いゲームを進める姿勢は茅ヶ崎の選手たちが大きく見習わなければいけない部分と言える。特に横浜の選手たちは、一見、運動量が少なくのんびりと見えるが選手個々が瞬間的に正しく動き、無駄に多く長く走ることが少ないように感じた。必要な時のトップスピードや距離が十分かつチーム全体がコレクティブであるのは言うまでもない。オン/オフ共に考えて動くこと、ピッチサイズと選手間の距離への意識を高める指導の大切さを強く感じた。  ポジションや個人にかかわることではなく、フィニッシュの精度向上は大きな課題と言える。力量が格下の相手に対して多くの得点を生み出せないことは不安要素。シュート数や得点機会はむしろ多くあっただけに修正が必要である。バタバタとゴールへ迫るのではなく、ビジョンと余裕を持ってシュートレンジへ体勢に入って行くための指導を意識しなければならない。																																									
FP	<table border="1"> <tr><td>安藤 翔</td><td>小和田</td></tr> <tr><td>飯塚 洗貴</td><td>今宿</td></tr> <tr><td>石田 亮介</td><td>50.4</td></tr> <tr><td>大塚 仁斗</td><td>東海岸</td></tr> <tr><td>岸 真那斗</td><td>松林</td></tr> <tr><td>近藤 真</td><td>50.4</td></tr> <tr><td>柴田 壮介</td><td>梅田</td></tr> <tr><td>杉田 優太</td><td>今宿</td></tr> <tr><td>広石 英大</td><td>小和田</td></tr> <tr><td>長尾 涼平</td><td>梅田</td></tr> <tr><td>深見 純大</td><td>小和田</td></tr> <tr><td>渡邊 波季</td><td>東海岸</td></tr> <tr><td>小倉 陽太</td><td>小和田</td></tr> <tr><td>渡辺 優真</td><td>今宿</td></tr> <tr><td>牛山 琉依</td><td>今宿</td></tr> <tr><td>田中 翔</td><td>今宿</td></tr> <tr><td>八幡 旭</td><td>小出</td></tr> <tr><td>田中 大喜</td><td>東海岸</td></tr> <tr><td>藤井 涼輔</td><td>松林</td></tr> <tr><td>伊藤 空</td><td>鶴嶺</td></tr> </table>	安藤 翔	小和田	飯塚 洗貴	今宿	石田 亮介	50.4	大塚 仁斗	東海岸	岸 真那斗	松林	近藤 真	50.4	柴田 壮介	梅田	杉田 優太	今宿	広石 英大	小和田	長尾 涼平	梅田	深見 純大	小和田	渡邊 波季	東海岸	小倉 陽太	小和田	渡辺 優真	今宿	牛山 琉依	今宿	田中 翔	今宿	八幡 旭	小出	田中 大喜	東海岸	藤井 涼輔	松林	伊藤 空	鶴嶺	
安藤 翔	小和田																																									
飯塚 洗貴	今宿																																									
石田 亮介	50.4																																									
大塚 仁斗	東海岸																																									
岸 真那斗	松林																																									
近藤 真	50.4																																									
柴田 壮介	梅田																																									
杉田 優太	今宿																																									
広石 英大	小和田																																									
長尾 涼平	梅田																																									
深見 純大	小和田																																									
渡邊 波季	東海岸																																									
小倉 陽太	小和田																																									
渡辺 優真	今宿																																									
牛山 琉依	今宿																																									
田中 翔	今宿																																									
八幡 旭	小出																																									
田中 大喜	東海岸																																									
藤井 涼輔	松林																																									
伊藤 空	鶴嶺																																									
GK	<table border="1"> <tr><td>米山 誠人</td><td>松浪</td></tr> <tr><td>吉田 隼人</td><td>鶴嶺</td></tr> </table>	米山 誠人	松浪	吉田 隼人	鶴嶺																																					
米山 誠人	松浪																																									
吉田 隼人	鶴嶺																																									
●総括	<大会運営> ・2会場ともに審判の質、判定基準のブレに疑問あり。 ・みなとみらい会場の大会2日目はアップスペースが確保されておらず準備の難しさを感じた。  <その他> ・予選2日目: プレー中の接触により牛山琉依(今宿)が側頭部打撲。 ・決勝T鎌倉戦: 同様に深見純大(小和田)が鼻骨打撲出血。 という場面が発生し共に試合中に救急車で搬送されたが大事には至らなかった。  茅ヶ崎サッカー協会少年委員会、トレセンスタッフ、保護者、サポーターの皆様には多大な協力をいただき大会中もっともバックアップの充実したチームの一つであったと感謝感謝しております。「茅ヶ崎らしさ」の一つだと思いますが、小さな市だからこそできる密で温かなコミュニケーションが今後も持続されていくことを強く期待しています。本当に有難うございました。																																									
●備考	今年度4種少年のサッカーも、必ず<タフネス/判断/スピード/コレクティブ>の4つの要素の追求と向上が要求される。次年度より8人制大会となると、そこへさらに<フィジカル>の要素も入ってくる。市内各チームの活動~TC活動~選抜選考~さわやか杯という流れのなか、指導者同士が潤滑なコミュニケーションをとり、明確なビジョンを持った育成と選手選考を行わない限り、短い準備期間の中、選抜チーム作りや大会において結果を求めることは益々難しくなると考える。市内各チームにも協力いただきたいのはU-12年代での戦術理解力の向上、「サッカーを知る」意識を選手に浸透させる指導である。																																									
●備考	次年度はさわやか杯、全日本など県4種の大会レギュレーションが大きく変わる節目の年となる。これまで積み重ねてきた経験を活かし、子供たちの育成にとって有意義な対応を検討すべく我々茅ヶ崎サッカー協会関係者、指導者が協議検討を重ね、しっかりとした準備をしてゆかなければならない。																																									